

# ハンドボール

No 28

## 第66回国民体育大会 ハンドボール競技 試合結果・戦評報告書

競技日	10月7日(金)	試合番号	A-1[A3]	回戦	1回戦
種別	成年男子	会場	麒麟バレッツ周南総合SC(A)		
Aチーム名			Bチーム名		
北海道			大阪府		
得点合計	小計		小計	得点合計	
<b>27</b>	11	前半	12	<b>33</b>	
	16	後半	21		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

### 戦評

1回戦、大阪府は7番関山のシュートで先制した。対する北海道は、大阪府の3-2-1ディフェンスの裏をうまく攻め、ポストシュートやサイドシュートなどで逆転に成功した。その後、お互い積極的なディフェンスやキーパーのファインセーブから速攻を出すなど、早い試合展開となった。大阪府は、1番新名が7mスローをファインセーブした後、流れを掴み、3番大阪、6番泉原、8番佐伯が連続得点をあげ、大阪府が10対8とリードを広げた。追い上げる北海道は8番宮脇の速攻、7番猪野のサイドシュートで得点を重ねた。前半終了前、タイムアウト後大阪府11番吉田がカットインプレーからシュートを決め、1点リードで前半を終えた。

後半開始後、大阪府は速い展開のプレーから連続得点をして突き放しにかかるが、北海道は4番橋本、6番小川を中心に多彩な攻撃を見せ、21対22と追い上げた。その後、1点を取り合う展開となった。20分過ぎに、大阪府は6番泉原の速攻・パスカットからの連続得点で5点差とした。北海道はたまたずタイムアウトを取り、反撃のきっかけとしたかったが、点差は詰らず、結局33対27で大阪府が2回戦へ駒を進めた。

記載者氏名

都志見 朋子

送信日時

10月7日(金)

送信者サイン

秋定真樹

